

表 RIGIの申請案件一覧

会社名	プロジェクト
YPF Luz	同社が10月25日にRIGIの適用を申請したのは、同社がメンドサ州で建設する太陽光発電所であるエル・ケマードの建設プロジェクトで、投資額は2億2,000万ドル。発電設備容量は305MWで、第1フェーズで200MW、第2フェーズで105MWとしている。23万3,000世帯分の電力を供給可能で、51万8,000枚の二面式太陽光発電パネルを導入する。
ガラソ・リチウム	同社がカタマルカ州のオンブレ・ムエルト塩湖で進めるリチウム開発プロジェクト「オンブレ・ムエルト・オエステ（英語ではオンブレ・ムエルト・ウェスト:HMW）」が申請対象。同社によると、鉱業では初のRIGIの申請。同社は、RIGIは、HMWの潜在能力を最大限に引き出すためのさらなる資本確保に繋がり、同社の能力を大幅に強化することになる、としている。
ポスコ	サルタ州とカタマルカ州の州境におけるリチウム開発プロジェクトの拡張。投資額は10億ドル。
ミナス・アルヘンディーナス (AISAグループ)	石灰石を採掘するグアルカマイヨ鉱山において金を採掘する。日産3,500トンから4,000トンの処理能力を持つ新しい地下鉱山、粉碎システム、浮遊プラントの建設を目指しており少なくとも17年間、年間約12万オンスの金を生産する計画。投資計画には、工業用石灰の生産も含む。投資額は4億8500万ドルを見込む。
YPF	ネウケンのアレンからリオ・ネグロのプンタ・コロラダまで437キロのパイプライン、モノブイを連結した積み下ろしターミナル、タンクと貯蔵ビーチを建設する、バカ・ムエルタ・スール・プロジェクト。投資額は30億ドル。2027年半ばから150億ドルの輸出が見込まれ、拡張により年間200億ドル以上の輸出が可能。
サザンエナジー (パンアメリカン・エナジー、ゴラールLNG)	幹線パイプラインへの相互接続、船舶内の最適なガス圧を確保するためのコンプレッサー・ステーション、海岸までの陸上パイプライン、船舶に接続する水中パイプライン、係留システムといった液化船による天然ガスの輸送施設をリオ・ネグロのサン・マティアス湾に建設する。第一段階（2025から2031年）で16億5,000万ドル、第二段階（2032から2035年）で12億5,000万ドルの投資を見込む。
SIDERSA	ブエノスアイレス州サン・ニコラスに最新鋭の製鉄所を設置するための3億米ドルの初期投資計画を提出。投資額は3億ドル。建設用鉄鋼などの投入資材を市場に供給する。生産性の向上、CO2排出量を従来技術の半分に抑える環境への配慮を可能にする最新技術を導入する。
GEAR I (PCR、アルセロール・ミッタル・アシンダル)	ブエノスアイレス州オラバリアに18万kWの風力発電所を建設すると同時に、同市とエセイサの変電所において送電系統の容量を拡大する。

(出所) 各社発表、各種報道等よりジェトロ作成